

施策マネジメントシート(平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成 28 年 6 月 20 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	地域整備課
				課長	上田 宜実
施策	15	道路網の整備	関係課	総合戦略課(企画)	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
	①町民	①安全で円滑に移動ができる。	1	道路の整備促進	町民	短時間で移動ができる。
			2	道路の安全性と利便性の確保	町民	道路を安心して快適に利用できる。
			3			
			4			
			5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	町内の道路に不便を感じている町民の割合	%	実績値	52.9	50.7	53.0	51.9	49.9	
			目標値		50.0	49.0	48.0	46.0	44.0	43.0
B	道路改良率 都市計画道路改良率	%	実績値	36.8/17.6	36.8/26.9	36.8/27.4	36.8/27.4	37.3/32.0		
			目標値		37.0/17.6	37.0/17.6	37.0/17.6	37.0/17.6	37.0/20.0	37.0/20.0
C	橋梁長寿命化修繕計画の進捗率	%	実績値	-	0.0	2.3	14.0	30.2		
			目標値		0.0	9.3	25.6	48.8	69.8	100.0
D	道路愛護活動(資材支給)を行っている行政区の数	区	実績値	41	44	44	43	42		
			目標値		44	46	48	50	52	54
E	学校指定通学路の歩道等整備率(簡易整備を含む)	%	実績値	24.7	33.5	34.1	34.1	34.9		
			目標値		36.5	38.4	40.3	42.3	44.3	46.2
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と
実績値の把握方法

A) 安全で円滑に移動できていれば、道路に不便を感じる町民の割合が低くなると考えられるため、成果指標とした。
町民アンケートにより把握
※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合
B) 数値が上昇すれば、町民が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。道路実態調査による。
C) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画と実施を比べることで進捗状況を把握することができるので成果指標とした。
D) 数値が上昇すれば、実施している団体が増え、資材支給の支援ができたと考えられるため成果指標とした。
E) 指定通学路の総延長に対して、整備できた指定通学の距離の割合が多くなれば安心安全に通学が出来るため成果指標とした。

目標値設定の考え方

A) 不便の内容として道幅が狭いと回答した人の割合が62.8%と高くなっている。しかし、事業の実施が進んでいるため成り行きでは平成29年度まで徐々に割合が下がると想定し、平成23年度実績から10ポイント程度の改善をめざす。
B) 道路改良率を大幅に向上させるためには、膨大な時間と費用を要するため短期間では困難。今後は、道路の新設よりも既存道路の管理に重点がシフトしていく傾向にあるため、成り行き値を目標値とする。【(道路改良率) 県内市町村平均:47.3%(H24)、沼田市:36.0%(H24)、中之条町:36.4%(H24)、片品村:39.9%(H24)、川場村:60.7%(H24)、昭和村:40.8%(H24)】
C) 計画的かつ予防的な対応に転換を図ることにより橋梁の寿命を延ばし、安全性の確保と維持管理費用の抑制を図ることを目的として町が管理する道路橋429橋のうち橋長15m以上の96橋を対象とした橋梁長寿命化修繕計画を策定した。修繕計画に基づいて、国の補助事業を採択し、計画どおりに補修工事を実施することを目標値とした。
D) 平成24年度では3分の2の行政区が現在資材支給を受けて道路愛護を行っている。更に町民に理解を求め道路愛護を推進していく対策をとり、平成25年度から毎年2地区の実施を目指し、平成29年度までに54区を目標値とした。地区別の活動実績は平成24年度、月夜野地区22/23、水上地区3/17、新治地区19/20となっている。
E) 現在指定されている通学路の総延長は25.5kmで、平成24年度末には8.08km、33.5%の整備が完了した。平成25年度から毎年500m、2%強の向上を目指し、平成29年度には11.8km、46.2%を目標値とした。簡易整備とは、幅員が0.75m以上2.00m未満の歩道又は自転車歩道車道が設置された区間、もしくは道路端へのカラー舗装等により歩行空間が明示されている区間。

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。 ②地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 ③道路の危険箇所などを通報する。	①計画的に道路の整備を行う。 ②道路の適切な維持管理を行う。 ③橋梁等の長寿命化を進める。 ④道路愛護活動のための資材支給などの支援を行う。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①今後、人口減少が進むことで、これまで道路等の維持管理に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。 ②平成26年7月より2m以上の橋梁は年1回の点検が義務づけられたため、点検体制の強化が必要となる。	①町民の約5割が町内の道路に不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとは言えない。特に、「道幅が狭い」28.8%、「暗い」21.9%、「歩道がない」18.9%が高い割合となっている。 ②町民アンケートによると、自由記述欄には、サイクリングロードやウォーキングできる歩道を整備してほしい、事業を開始している都市計画道路の完成を早めてほしい、道路の舗装等の修繕について対応してほしい、支障立竹木を除去してほしいなどの意見が寄せられている。 ③資材支給を増やしてほしいとの要望がある。

施策	15	道路網の整備	主管課	名称	地域整備課
				課長	上田 宜実

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①町内の道路で不便を感じている割合は平成25年度53.0%、平成26年度51.9%、平成27年度49.9%と2.0ポイント下がり、不便を感じている町民の割合は若干低くなった。地区別にみると、月夜野地区53.0%、水上地区52.5%、新治地区43.4%となっている。不便と回答している内容を地区別にみると、水上地区で「道幅が狭い」、「暗い」、「歩道がない」の割合が高い。月夜野地区では「道幅が狭い」の割合が特に高い。新治地区では「道幅が狭い」の割合が高くなっている。 ②道路改良率は、平成25年度36.8%、平成26年度36.8%、平成27年度37.3%と若干向上した。町道の総延長が長いこと、道路改良を進めているものの改良率に変化が現れない。 ③都市計画道路の改良率は、平成25年度27.4%、平成26年度27.4%、平成27年度32.0%と僅かながら向上している。 ④道路愛護活動(資材支給)を行っている行政区の数は、平成25年度44区、平成26年度43区、平成27年度42区とほぼ横ばいである。 ⑤通学路の歩道等整備率は、平成25年度34.1%、平成26年度34.1%、平成27年度34.9%と若干向上した。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①町の道路改良率は37.3%であり、平成27年度県内市町村における道路改良率の平均48.0%を10.7ポイント下回っている。なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中する都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が37.3% (実延長1,128.7km)であるのに対し、沼田市36.6% (1,398.8km)、中之条町36.2% (703.8km)、片品村40.2% (364.1km)、川場村60.9% (158.8km)、昭和村41.4% (535.0km)となっている。(平成27年4月現在) ②みなかみ町内の学校指定通学路の歩道等整備率は、34.9% (総延長12.75km)である。(平成27年4月現在) 【沼田市18.9% (66km)、中之条町21.5% (20.9km)、片品村0% (0km)、川場村23.5% (6.8km)、昭和村21.2% (16.5km)となっている。(平成25年度)】
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は平成26年度から2ポイント減少し49.9%になったが、目標の46.0%には達しなかった。 ②道路改良率は町道の総延長が長いこと、道路改良を進めた結果、37.3%となり、目標値の37.0%を若干上回った。 ③都市計画道路改良率は、32.0%と前年度より若干向上し、目標の17.6%を上回った。 ④橋梁長寿命化修繕計画の進捗率は30.2% (13/43橋)であり、目標の48.8%を下回った。交付金の枠内で事業実施しているが、一橋あたりの補修に膨大な費用が掛かるため、計画橋数を予定どおりに進めるのは困難である。 ⑤道路愛護活動(原材料支給)を行っている行政区の数は、平成27年度は42地区であった。目標値の50地区を下回った。 ⑥学校指定通学路の歩道等の整備については、34.9%であり、目標値の42.3%に達することができなかった。簡易歩道の整備が進まなかったことが原因として挙げられる。
成果実績に対する総括	①真政悪戸線の事業が進んだ。 ②布施須川線の改良工事の一部が完了した。 ③原四谷橋線の改良工事が完了した。 ④真政線、中学校グランド線の事業が進んだ。 ⑤狭あい道路整備事業の野田原線の調査事業を開始した。 ⑥一般国道17号羽場地区線形改良事業が進んだ。 ⑦橋梁の長寿命化事業に於いて、7橋(湯原・河鹿・小峠・赤沢・一畝田・箕輪・下川原)の工事が完了した。 ⑧原材料購入事業は、町で購入した資材を地域に提供し地域が労務を負担することで、町道の修繕整備を進めるとともに、町民の道路愛護意識を醸成した。 ⑨国道291号の上毛高原駅と水上間の拡幅改良事業が進んだ。 ⑩新三国トンネルの事業が進んだ。 ⑪主要地方道渋川下新田線の上津2期工区の改良事業が完了した。		

	基本事業名	今後の課題	平成29年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 道路の整備促進	①短時間で移動するために、都市計画道路の早急な整備が必要である。	①真政悪戸線の徒渉橋の上部工及び前後区間を完成させ、供用開始する。
	2 道路の安全性と利便性の確保	①道路の狭隘部分や道路構造物等の老朽箇所の点検、維持修繕等の迅速な対応を進める必要がある。	①真政線、野田原線事業を進める。 ②橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高速道路を跨ぐ橋梁の補修に着手する。
	3		

15 道路網の整備

15-01-000005		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	30,000円			
国道17号バイパス整備促進期成同盟会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費
事業概要	事業の意図	・国道17号バイパス整備促進期成同盟会に負担金を支払うことによって同盟会の活動が円滑に出来るようにする。・国道17号沼田バイパスの4車線化			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					4車線化になった延長	0			km	×
事業概要	事業の意図	成果が目に見えないため、同盟会の活動を外部に説明することが必要と思われるが、長期継続的な活動が必要である。			なし		課題とその解決策	綾戸バイパスや新三国トンネルの事業化が優先されると思われることから、沼田バイパスの4車線化に対する考え方(優先度)を整理する必要がある。	○	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案			課題とその解決策					

15-01-000006		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	60,000円			
玉原道路建設整備促進期成同盟会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費
事業概要	事業の意図	玉原道路改良整備促進期成同盟会活動の円滑化に寄与し、整備事業の実現を図る。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					各種要望書提出数	1			回	×
事業概要	事業の意図	実現は難しいが、最低限の活動は続けるべきである。地元協議会への補助金の額の減額。			地元協議会への補助金の額の削減。		課題とその解決策	補助金の額を削減するためには、総会での予算の議決が必要である。	×	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案			課題とその解決策					

15-01-000007		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	215,887円			
国・県等土木施設整備促進事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費
事業概要	事業の意図	事業を実施させる			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					新たに要望した箇所	2			箇所	×
事業概要	事業の意図	県への要望箇所を実施可能と思われるものに絞ることによって、成果向上を期待できる。要望活動や土木行政懇談会など有効な手段であり、効果が発揮されている。			県への要望箇所を実現可能なものに絞る。		課題とその解決策	要望箇所を絞ると、削除された区等関係者からの異議が寄せられる可能性があるため、事前の説明が必要である。	○	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案			課題とその解決策					

15-01-000008		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	18,000円			
関東道路協会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費
事業概要	事業の意図	関東国道協会に負担金を支払うことによって協会の活動が円滑に出来るようにする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					要望活動の回数	1			回	×
事業概要	事業の意図	協会の負担額を下げれば事業費は削減できるが、関東地方全体に係ることであるため難しい。			協会の活動が機能することが目的であるため現状維持		課題とその解決策	なし	○	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案			課題とその解決策					

15 道路網の整備

15-01-000009		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	22,500円				
群馬県道路協会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費	
事業概要	事業の意図	県道路協会に負担金を支払うことによって協会の活動が円滑に出来るようにする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					要望書の回数	1	回		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	協会の活動が機能することが目的であるため現状維持			課題とその解決策	なし				
							○	効率性			
								○	公平性		

15-01-000010		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	1,500円				
群馬県用地対策連絡協議会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費	
事業概要	事業の意図	・県用地地帯作連絡協議会に負担金を支払うことによって協議会の活動が円滑に出来るようにする。・用地取得事務従事者が研修会等に参加し、用地取得事業に必要な能力を身につける。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					研修会等に参加した用地取得事務従事者の人数	3	人		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	積極的に研修会等へ参加をすることにより、理解度が深まると思われる。			課題とその解決策	研修会等の案内を早期に周知し、前年並参加者であったが、更なる知識の習得のため、研修会への参加は是非必要であると思われる。				
							○	効率性			
								○	公平性		

15-01-000011		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	784,169円				
土木工事設計積算事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費	
事業概要	事業の意図	設計積算担当者が各システムを利用し設計積算をできるようにする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					積算システムを利用して発注した件数	99	件		○	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	業務委託及び工事の設計図書作成に是非必要な活動である。			課題とその解決策	なし。				
							○	効率性			
								○	公平性		

15-01-000012		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	円				
町道悪戸矢瀬線整備事業		予算科目	会計		款		項		目		
事業概要	事業の意図	悪戸矢瀬線を新設し車両が通行できるようにする			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					当該道路の改良済延長	1,750	m		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	地権者の協力が得られず一部用地未買収となっている。道整備交付金事業が平成25年度で終了したため、町の財政事業を考慮に入れつつ新たに街路事業を立ち上げ完成を目指す必要がある。又、一部設計を見直し事業費の削減を計る必要がある。			課題とその解決策	別事業にしたところ、用地の交渉は相手のあることなので、計画どおりに行かない。強制執行も考えられるが慎重に進める必要がある。真政悪戸線に優先的に事業費が投入される。町の財政状況に合わせた事業実施年度を決めていく必要がある。				
							○	公平性			

15 道路網の整備

15-01-000013		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	179,891,126円				
町道真政悪戸線整備事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	4都市計画費	目	2都市整備費	
事業概要	事業の意図	供用開始			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					当該区間の改良済延長				845	m	×
○		効率性									
○		公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	都市再生整備計画事業分の工事が完成した。H27から街路事業に移行し、徒渉橋上部工の発注ができた。次年度以降は1工区の用地買収、事業費の確保が必要			今後の改革改善案	事業完了に向けて、1工区用地買収の完了が必要。			課題とその解決策	地権者の協力が不可欠。	

15-01-000014		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	25,567,395円				
町道真政線整備事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	3道路新設改良費	
事業概要	事業の意図	町道後閑真庭線の改良対象箇所改良工事を実施することにより安全快適な通行が出来るようにする。			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性	
					当該区間の改良率				0	%	×
×		効率性									
○		公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今年度は道路の概略設計業務が完了した。また、踏切の移設についてJRと協議したところ平成30年ぐらいには着手できる可能性があるとの回答を頂いた。			今後の改革改善案	より安全で快適な道路網の整備のために、今計画の望郷ライン交差点を師経由で沼田市に接続することで、師区内の交通量が減ることが予想され師区内の道路の安全性が高まる。			課題とその解決策	真政区において都市計画代替案についての回答をどうするのかにより、地元からの反対が予想される。	

15-01-000015		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	円				
町道蟹枠団地線整備事業		予算科目	会計		款		項		目		
事業概要	事業の意図	蟹枠団地線が悪戸戸瀬線と接続される。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					事業の進捗率				0	%	×
×		効率性									
○		公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	道路を整備する事により、土地の価値や地域住民の利便性も向上する。			今後の改革改善案	地権者との交渉は始まったばかりなので、今後、根気強く継続していく			課題とその解決策	用地交渉は相手のある事なので、計画とおりに行かない。誠意をもった対応で進めるしかない。	

15-01-000017		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	8,000円			
全国街路事業促進協議会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	4都市計画費	目	1都市計画総務費
事業概要	事業の意図	全国街路事業促進協議会活動への参加			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					協議会の会員となっている				1	団体
○		効率性								
○		公平性								
総括と今後の方向性	全体総括	全国街路事業促進協議会参画していることが目的であり現状維持とする。			今後の改革改善案	連絡調整だけなので、事務時間を短縮したい。			課題とその解決策	

15 道路網の整備

15-01-000018		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	10,000円				
群馬県街路事業促進協議会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	4都市計画費	目	1都市計画総務費	
事業概要	事業の意図	群馬県街路事業促進協議会への参加			平成27年度		1	団体	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					協議会の会員となっている					<input type="radio"/>	有効性
<input type="radio"/>	効率性										
<input type="radio"/>	公平性										
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	連絡調整だけなので、事務時間を短縮する。			課題とその解決策					

15-01-000019		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	80,000円				
中之条湯河原線等整備促進期成同盟会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費	
事業概要	事業の意図	・中之条湯河原線等整備促進期成同盟会の活動に寄与する ・主要地方道中之条湯河原線等の早期整備			平成27年度		79	%	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					整備の進捗率(中之条湯河原線)					<input type="radio"/>	有効性
<input type="radio"/>	効率性										
<input type="radio"/>	公平性										
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	道路整備事業の推進を図るため、同盟会の結束・調整等が必要。			課題とその解決策	同盟会の継続的な取り組みが必要。				

15-02-000001		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	14,045,053円				
道路愛護活動事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	1道路橋梁総務費	
事業概要	事業の意図	①道路を大切にすることを高めてもらう②道路周辺が清掃され、安全快適に利用できる道路となる③資材支給により、道路の維持及び機能向上がきめ細やかに行われる			平成27年度		7,839	人	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					道路愛護活動に参加した町民の人数					<input type="radio"/>	有効性
<input type="radio"/>	効率性										
<input type="radio"/>	公平性										
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	地元の方に清掃・修繕補修等の整備をゆだねているため安全管理対策の見直しが必要。			課題とその解決策	・作業に伴う安全管理の周知を強化する。 ・若い世代の道路愛護への無関心。「町という組織」の所有物という誤った認識の改善。				

15-02-000002		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	8,553,600円				
道路台帳管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	1道路橋梁総務費	
事業概要	事業の意図	整備内容を台帳へ反映させる			平成27年度		100	%	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					当該年度対象地区の台帳整備進捗率					<input type="radio"/>	有効性
<input type="radio"/>	効率性										
<input type="radio"/>	公平性										
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	長期的には、他事業との連携を図り道路台帳統合に向けた準備を進める。(財源の確保・認定路線の精査等)短期的には、最新の道路台帳での管理を推進していくことから、全町の道路の毎年更新を継続していく。			課題とその解決策	台帳統合化並びにGIS情報化による庁内他情報との複合情報一元化に必要な多額の財源の確保。				

15 道路網の整備

15-02-000003		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	0円			
道路内民地未処理案件解決事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	1道路橋梁総務費
事業概要	事業の意図	・当該案件の登記を終了させ、権利者が安心できるようにすると共に、道路内の用地を町名義にし安心して利用できる道路にする。。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					当該案件解決件数	16			件	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	道路内民地の全体像を把握する必要がある。また、道路整備事業に伴う寄付や買取等の際、登記事務を行い、件数を増やさず完了させる必要がある。			課題とその解決策	・道路内民地を把握するため台帳づくり。また事業を担当する部署への登記事務実施への徹底を周知していく。			

15-02-000004		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	35,377,674円			
道路維持管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	2道路維持費
事業概要	事業の意図	・修繕を必要とする町道を、早期に修繕することによって、安全、快適に利用できるようにする・森林管理署から貸付を受けている道路敷きを道路として合法的に利用できるよう必要な手続き(貸付料の支払いを含む)を執る			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					修繕作業実施箇所数	160			箇所	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	道路施設等の欠陥・破損箇所を早期に見出し、効率・効果的な作業方法の検討して補修する。			課題とその解決策	道路パトロールを強化して、町内の状況を把握し、早期に対応する。・業者等の施行方法や区長、近隣の住民と連携して補修にあたる。			

15-02-000005		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	8,674,019円			
三峰トンネル維持管理費負担事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	2道路維持費
事業概要	事業の意図	三峰トンネルを常時通行できるようにする。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					トンネルの通行止回数	0			回	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	修繕費、委託費等の増加を抑えるため計画的に点検・修繕行っている。			課題とその解決策	平成25年度から電気料金の契約は東京電力から、安い料金で供給できる業者に変更した。しかし、安全上、修繕費の予算確保が必要。			

15-02-000006		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	58,255,721円			
道路ストック総点検・老朽化対策事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	2道路維持費
事業概要	事業の意図	コンクリートの剥落やのり面の崩落、舗装の穴等による事故が起こらないようにする事。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					トンネルでの事故	0			件	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	点検を実施した中で認定はされているが利用実態のない道路については町道として廃止を検討することも有効的である。			課題とその解決策	交付税の減少、町道廃止による林道利用者からの苦情。			

15 道路網の整備

15-02-000007		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	54,988,105円			
単独道路補修事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	2道路維持費
事業概要	事業の意図	町管理の道水路等の修繕工事を実施することにより安全快適な利用が出来るようにする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					月夜野地区の実施件数	7			件	×
×	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	区からの補修要望は継続しているため、今後も事業として継続していく。	今後の改革改善案	事業を開始した区間に事業費を集中的に投入することによって早期の成果発揮となる。	課題とその解決策	事業費の確保が必要となる。				

15-02-000008		担当組織	地域整備課 管理グループ			事業費	50,000円			
全国街道交流会議参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費
事業概要	事業の意図	・全国街道交流会議の円滑化に寄与する。・同会主催の各種イベントに参画することにより町内の街道のPRを行う。			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					総会開催数	1			回	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	道路網の整備を行ううえで、交流会議への参加をつづけても、政策に直接結びつくとは考えにくい。	今後の改革改善案	地域整備課での参画なら廃止で良いと思うが、まちづくりや観光振興を考えるなら、目的の再設定が必要。	課題とその解決策	街道を活かした地域づくり・まちづくりなどの支援に関する事業なので、観光振興や交流活動等を視点とした政策を進めて行く必要があると思われる。				

15-02-000009		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	30,930,713円			
単独道路改良事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	3道路新設改良費
事業概要	事業の意図	町道の改良工事を実施することにより安全快適な通行が出来るようにする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					(仮)三通り戸谷倉線の当該区間改良率	0			%	×
×	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	本年度から補助事業等で整備できない箇所においても単独事業を行い道路改良する事が出来るため成果の向上させる事が出来ると思う	今後の改革改善案	事業を開始した区間に事業費を集中的に投入することによって早期の成果発揮となる。	課題とその解決策	事業費の確保が必要となる。				

15-02-000012		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	54,734,082円			
町道中学校グラウンド線改良事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	4都市計画費	目	2都市整備費
事業概要	事業の意図	当該区間を片側歩道2車線道路として整備する			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					当該区間の改良率	0			%	×
×	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	交付金事業の活用で計画的に整備すれば事業費削減できる事業である。しかし、こども園開園時期が決められているため移行は間に合わない。	今後の改革改善案	こども園整備工事の工事用道路、完成後は進入路となるため、事業費を集中的に投入する必要がある。	課題とその解決策	用地買収契約が終了し、H27の事業費も確保されていることから特に問題はがない。				

15 道路網の整備

15-02-000014		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	180,995,334円			
橋梁長寿命化事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	4橋梁維持費
事業概要	事業の意図	・長寿命化計画を基に橋梁の長寿命化工事を実施し長期間、安全、快適に利用できる橋梁にする			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					長寿命化修繕計画進捗率 (単年度における)				45	%
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	橋梁点検により修繕を必要とする橋梁が増え、予算の確保が必要			課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
橋梁長寿命化計画が策定され、修繕計画が策定されると、多額の費用を毎年つぎ込み修繕することになるので予算の確保が必要である。しかし、修繕を怠ると橋梁通行不能となるため、新規道路や道路改良よりも優先的に予算を投入するべきである。										

15-02-000015		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	2,127,600円			
狭あい道路拡幅整備事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	5住宅費	目	1住宅管理費
事業概要	事業の意図	・狭あい道路(幅員4.0m未満)が建築基準法第42条で規定される道路(幅員4.0m以上)の要件を満たすよう拡幅工事を実施する。(狭あい区間を拡幅する)			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					狭隘区間改良率				0	%
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	交付金事業が継続している限り、継続する。			課題とその解決策		<input checked="" type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
交付金事業が期間延長した事で、平成27年度より計画路線を一路線増やした。今後、関係地権者と調整し、事業実施できるようにする。										

15-02-000016		担当組織	総合政策課 企画グループ			事業費	円			
月夜野道路情報ターミナル・パークアンドライド管理事業		予算科目	会計		款		項		目	
事業概要	事業の意図	パークアンドライドを利用してもらう			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					利用状況				90	%
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	ごみを捨てていく人がいるため、利用マナーの向上に努める必要がある。			課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
現在事業費を予算化していないが、マナー向上の周知等を行うための手段が必要である。										

15-02-000017		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	33,030,191円			
町道布施須川線改良事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	3道路新設改良費
事業概要	事業の意図	・改良工事を実施する。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					当該区間改良率				1	%
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	平成27年度で完了予定であったが、支障物件の移設が遅れたため、次年度も継続となった。利用者のニーズと地元の理解を賜りながら、事業完了を目指していく。			課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
道路事業は関係者の協力が得られないと進められない。今後も交渉や説明等を行い、丁寧に事業を行う。										

15 道路網の整備

15-02-000018		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	11,539,910円			
町道原四ツ谷橋線改良事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	3道路新設改良費
事業概要	事業の意図	・改良工事を実施する。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					当該区間改良率		100		%	<input type="checkbox"/>
総括と今後の方向性	全体総括	道路を改良する事により、地域住民の利便性も向上する。			今後の改革改善案		課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性

15-02-000019		担当組織	地域整備課 建設グループ			事業費	22,000円			
道の駅調査研究事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	2道路橋梁費	目	1道路橋梁総務費
事業概要	事業の意図	情報を得る事により、施設利用者に対するサービス向上が図られる。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					検討委員会活動数		8		回	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	早期に検討し計画的に整備していくことで早期に目標を達成することができる。			今後の改革改善案		課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性